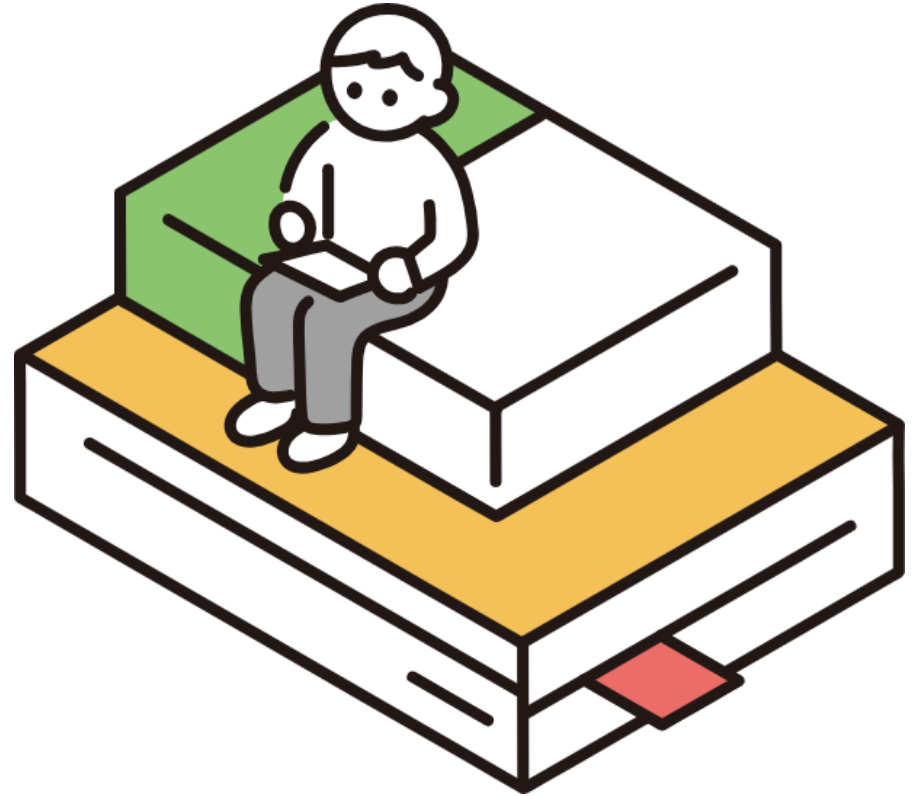




次期総合計画における

基本構想（骨子案）について【説明用】

I 次期総合計画の全体像の整理

R9年9月
議案上程

R8年度中
答申

基本構想

- ・ 基本理念
- ・ 本市の将来像
- ・ 基本目標
- ・ KGI:豊かさ、幸福度、定着・選ばれる

【連携する】

分野を超えて、将来像の実現に向けた取組を一体的に進める

基本計画

- ・ 構成・内容 → 時点修正程度

【組織】

横断テーマを実効性ある取組とするため、司令塔機能や部局間調整の仕組みを組織面で明確にする

【横の連携】

複数の分野・政策にまたがる課題を、横断テーマとして基本計画上に位置付ける

社会指標

各政策の目指す姿(政策の目的)になっているかの観測指標

成果けん引型

まちの活力や稼ぐ力を高める分野。成果の増加・変化をKPIで把握。

基盤維持型

市民生活や都市機能を支える分野。維持・安定・質の確保を重視し、KPIは必要に応じて設定。

R8年度～R9年6月

行政経営サイクル

R9年度中

多様な意見

R8年度中

若者、市民、女性、DX関係者など、行政だけでは捉えにくい生活実感、課題、将来への期待を把握する。

市民・事業者の経済活動

事業者や働く人が、自らの事業拡充、雇用創出、地域経済の活性化にどう関わるかを整理する。

市民活動・地域活動

地域、職域、団体、学生等が、地域活動、交流、イベント、学び、支え合いなどを通じて、まちの魅力や暮らしやすさを高める取組を整理する。



基本計画の巻末などに提案の羅列

【庁外】
総合計画審議会・市民会議

【議会】
総合計画調査特別委員会

【庁内】
総合計画会議・企画委員会議

行政

R8年度中

社会増対策

転入促進・転出抑制に向け、雇用、住環境、子育て、教育、交通、地域の魅力など、暮らし全体に関わる要素を総合的に捉える。

小さな課題

市民が日常生活の中で感じる不便、不満、閉塞感を拾い上げる。

満足度(納得感)

小さな課題への対応を通じて、暮らしの納得感や住み続けたいと思える実感を高め、転出抑制・定住促進につなげる。

【プロジェクト】

総合計画とは別冊で整理

プロジェクト

R8年度組成

雇用:若者や子育て世代が佐世保に残る・戻るための土台。
成長:人口減少下でも、市内経済や地域活力を伸ばす方向。

Ⅱ 次期総合計画の骨子（案）（全体像）

基本構想

市民などまちづくりに関わる主体が考え方・思想を共有するもの

将来像

《キャッチフレーズ》

【例】未来を拓く わたしたちのまち
— みんなのSASEBO、みんながSASEBO —

《都市状態指標（いわゆるKGI）の例》

- ・ 今を幸福だと思ふ人の割合（幸福度）
- ・ 1人当たり市民所得（豊かさ）
- ・ 総人口（選ばれ続ける力）

※総人口のみ目標値を設定

基本理念

【例】

3つのシンカ（進化・深化・真価）

「発想のシンカ」
「つながりのシンカ」
「行動のシンカ」

→ 受け継いできた価値を生かし、さらに高めながら、変化を前向きに取り入れ、発想やつながり、行動を通じて、佐世保の新たな未来を切り拓いていくこと。

基本目標

（ひと）

【例】未来を担う“ひと”を育む

（しごと）

【例】地域の価値を高める“しごと”を育む

（まち）

【例】未来につながる“まち”を築く

（くらし）

【例】安心・安全で豊かな“くらし”を実現する

基本計画

行政が何を目指して、何をするかをまとめた行政の計画書で、それを市民等へわかりやすく共有するためのもの

政策・施策の形成における共通の視点

※言葉は現在検討中のため、考え方・方向性を記載しています※

政策・施策を企画・立案・推進する際に、全ての部局が共通して持つべき考え方・考慮すべき視点

- ・ 人口減少社会に適応した都市経営の視点
- ・ 価値を高める質的成長を目指す視点
- ・ 市民目線で成果の実感につなげる視点
- ・ 分野・主体の枠を超えて連携する視点
- ・ 佐世保ファンを増やす視点

政策

政策で目指す社会（佐世保）の状態

どんな社会を目指すのか。そのためにどんな視点で政策を展開するのか

状態
確認

目指す社会の状態に近づいていることを確認するための参考指標（いわゆる政策KPI）

施策

施策の目的

何のための施策か。どう目指す社会の状態につなげようとしているのか

状態
確認

施策の目指す状態に近づいているかを確認するための参考指標（いわゆる施策KPI）

施策を取り巻く問題点の整理

施策目的の実現を阻害している現状・課題（原因）をエビデンスを示しながら整理

問題解決の方向性と主な取組内容

問題点を踏まえ、どのような考え方・アプローチで課題解決を図るのか

本市の将来像でご議論・ご審議いただきたい事項

将来、本市のありたい姿とは？ それを表すキャッチフレーズとは？

- 将来像は、次期総合計画が目指す10年後の本市の姿を表現するものであり、市民・地域・事業者・行政が共有する共通の目標となるものです。
- 共有しやすいように、将来像は、一言で表すキャッチフレーズ型で表現したいと考えています。
- 以下のような視点から、ご議論・ご審議いただきたいと考えています。
 - ・ 10年後の佐世保がどうありたいか。
 - ・ 未来に希望や前向きなイメージを持てる表現とはなにか。
 - ・ 子どもから高齢者まで、幅広い世代が自分事として受け止められる表現とはなにか。
 - ・ 市民が愛着や誇りを持ち、多くの人に共有される将来像とするために、必要な視点や要素はなにか。

本市の将来像を考える上で

- 将来像は、単なるキャッチフレーズではありません。
- まず、本市が将来どのような姿を目指すのかを整理し、その姿を市民に分かりやすく伝える言葉として将来像を検討したいと考えています。

将来目指す佐世保市の姿
(ありたい姿)



その姿を分かりやすく伝える言葉
(キャッチフレーズ) とは何か？

市民に伝わる将来像
(キャッチフレーズ)

本市の将来像（例）

【例】

ありたい姿

人口減少や価値観の多様化など、社会が大きく変化する時代においても、一人ひとりが安心して暮らし、自分らしく活躍できること。そして、多様な人や地域、世代、文化がつながり、新たな価値を生み出しながら、みんなで未来を切り拓いていくまちを目指したい。

➤（キャッチフレーズ）

未来を拓く わたしたちのまち — みんなのSASEBO、みんながSASEBO —

「みんな」に込めた思い

「みんな」とは、市民だけを指す言葉ではありません。

佐世保に暮らす人、学ぶ人、働く人、子どもから高齢者まで、事業者や団体、行政、そして佐世保を訪れる人や応援する人など、このまちに関わるすべての人を表しています。

「みんなのSASEBO」には、このまちは“みんな”で大切に育み、“未来のみんな”へつないでいくまちであるという思いを込めています。

そして、「みんながSASEBO」には、一人ひとりがまちづくりの主役であり、それぞれの行動や挑戦が佐世保の未来を形づくるという思いを込めています。

一人ひとりが佐世保の未来を支える存在であり、一人ひとりが「SASEBO」そのものです。

Ⅲ 本市の将来像について

【参考】他自治体等の将来像

	自治体名	将来像（又はこれに類するもの）
1	長崎県佐世保市 (第7次総合計画)	・ 海風 薫り 世界へはばたく “キラっ都”SASEBO
2	長崎県長崎市	・ みんなでつながって、暮らしやすさをつくり続けています ・ 産業がもたらす活力と技術の進歩を取り入れ、生活の質が高まっています ・ 交流の歴史に培われた多様な魅力で人を惹きつけています ・ 平和な世界、持続可能な世界の実現に貢献しています
3	長崎県諫早市	・ 来てよし、住んでよし、育ててよし！輝く諫早 夢かなうまち
4	長崎県大村市	・ しあわせの輪が広がるまち おおむら 2050
5	新潟県新潟市	・ 田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市
6	静岡県掛川市	・ だれもが自分らしく暮らし 進化しつづける未来共創都市 かけがわ
7	大阪府池田市	・ 笑顔あふれる豊かな暮らしを未来につなぐ みんなが大好きなまち 「だったらいいな」を叶える いけだ
8	愛知県高浜市	・ 人と想いが つなぐつながる しあわせなまち 大家族たかはま
9	佐賀県鳥栖市	・ 住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち 鳥栖－“鳥栖スタイル”の深化－ ※“鳥栖スタイル”のまちづくりとは「鳥栖にしかできない・鳥栖だからできる・鳥栖らしい」取組を推進し、まちの魅力を高めていくまちづくり
10	愛知県岡崎市	・ 一歩先の暮らしで三河を拓く 中枢・中核都市おかざき

Ⅳ 都市状態指標について

都市状態指標でご議論・ご審議いただきたい事項

都市状態指標とは？

- 都市状態指標は、個別政策・施策の成果を評価する指標ではなく、将来像の実現に向けた都市全体の状態を把握するための指標です。
- 政策・施策ごとの成果ではなく、都市全体の状態を多面的に確認することを目的として設定します。
- 以下のような視点から、ご議論・ご審議いただきたいと考えています。
 - 都市状態を把握する指標としてなにが適切か。
 - 将来像の実現状況を確認する指標として必要な視点はなにか。
 - 指標の考え方（目標値を設けず、基準年との比較で評価する方法など）はなにが適切か。

都市状態指標（例）

① 今を幸福だと思ふ人の割合（幸福度）

暮らしの満足度や実感を表す指標

【測定方法】

ウェルビーイングアンケート調査

暮らしに満足する・幸せを感じる

② 1人当たり市民所得（経済的豊かさ）

地域全体の経済的な豊かさを表す指標

【測定方法】

市町民経済計算

みんなが経済的に豊かになる

本市が目指す将来像

目指す将来像に近づいていることを観測する

③ 総人口（選ばれ続ける力）

暮らしの場として選ばれ続ける力を確認する指標

【測定方法】

人口統計

Ⅳ 都市状態指標について

都市状態の評価方法（案）

- 本計画では、「一人当たり市民所得」と「今が幸せだと思ふ人の割合」には個別の目標値は設定しないよう考えています。（総人口には目標値を設定します。）
- 将来像の実現に向けて都市の状態が着実に前進していることの確認として、基準年と比較し、原則として「一人当たり市民所得」と「今が幸せだと思ふ人の割合」の双方が改善され、総人口の目標値を上回ることを目指します。
- ただし、3つの指標は外的要因による影響も受けやすいことから、基準年との比較や総人口の目標値と実績の比較結果のみをもって、成果を測ることはできないと考えているため、各指標の変化や社会経済情勢も踏まえ、総合的に判断する必要があると考えています。

【参考】他自治体等の都市状態指標（KGI）

	自治体名	都市状態指標（KGI）（又はこれに類するもの）
1	長崎県佐世保市 (第7次総合計画)	• 人口 • 市内総生産
2	長崎県長崎市	• 人口ビジョンとしての目標人口のみ記載あり
3	長崎県諫早市	• 人口ビジョンとしての目標人口のみ記載あり
4	長崎県大村市	• 人口ビジョンとしての目標人口のみ記載あり
5	新潟県新潟市	• 社会動態（714人転出超過→転出超過の解消） • 合計特殊出生率（1.33→1.38） • 新潟市に住み続けたい市民の割合（88.2%→90%） • 将来世代のことも大切にした持続可能なまちづくりが進んでいると思う市民の割合（21.8%→50%）
6	静岡県掛川市	• 人口ビジョンとしての目標人口のみ記載あり

基本理念でご議論・ご審議いただきたい事項

これからの本市に必要な「まちづくりの考え方」とは何か

- 次期総合計画では、市民・地域・事業者・行政が共有する「まちづくりの考え方（基本理念）」を定めます。
- 次期総合計画において、以下の視点でご議論・ご審議いただきたいと考えています。
「どのような考え方を基本理念として掲げることが本市にふさわしいか」
「本市全体が共有すべきまちづくりの考え方とは何か」
「不足している視点や表現はないか」

基本理念の定義と役割

次期総合計画において事務局が考える「基本理念」の定義と役割は以下のとおりです。

定義

基本理念とは、「市民」「地域」「事業者」「行政」など、まちづくりに関わる多様な主体が共有する佐世保市のまちづくりを進めるうえでの基本的な考え方。

果たすべき役割

基本理念を通して、まちづくりに関わる多様な主体が、これからの佐世保市のまちづくりで重要となる視点、価値観、行動の方向性を共有できること。

基本理念として共有したいこと

人口減少
= 避けられない課題

求められることは？



- 課題を受け入れ適応すること
- 影響を極力軽減すること



そのために基本的な考え方として
共有する必要があることは？



基本理念において共有したいことの例

- 01 人や組織が連携すること（地域や分野などを越えた協力）
- 02 変化に対応すること（新しい発想や挑戦）
- 03 未来へつなぐこと（持続可能な地域づくり）

基本理念（例）

例：3つのシンカ（進化・深化・真価）

発想のシンカ

つながりのシンカ

行動のシンカ

- 人口減少や社会の変化が進む時代においても、佐世保には、これまで多くの人々によって培われてきた歴史や文化、産業、人のつながりなど、未来へ受け継ぐべき多くの価値があります。
- これらを大切に受け継ぐだけでなく、その本来の価値を改めて見つめ直し（真価）、さらに磨き高めるとともに（深化）、変化を前向きに取り入れながら、新たな価値へと発展させていく（進化）ことが重要です。
- 市民、地域、事業者、行政など、まちづくりに関わるすべての主体が、「発想」「つながり」「行動」のそれぞれにおいて『3つのシンカ（真価・深化・進化）』を意識し、共有し、実践することで、佐世保の新たな未来をともに切り拓いていくことを基本理念とした例になります。

【参考】他自治体等の基本理念

	自治体名	基本理念（又はこれに類するもの）
1	長崎県佐世保市 (第7次総合計画)	・ 変革、発展を推し進め、活力あふれる街づくりに「挑戦」します。 ・ 常に高いクオリティと新たな価値を求め、夢と希望に輝くまちを「創造」します。 ・ 様々な文化、価値観を互いに尊重し認め合う「多様性」のあるまちをつくります。 ・ 郷土愛、共感を育み、ともに暮らし支え合う「共生」の精神を持つまちづくりを行います。
2	長崎県長崎市	・ つながりと創造で新しい長崎へ
3	新潟県新潟市	・ 活力あふれるまちづくり ・ 持続可能なまちづくり
4	静岡県掛川市	・ DEI (Diversity, Equity, Inclusion) ちがいを、チカラに。 ・ DX (Digital Transformation) テクノロジーを、味方に。 ・ 共創 (Co-Creation) 新たな価値を、共に。

基本目標でご議論・ご審議いただきたい事項

基本目標とは？

- 基本目標は、将来像の実現に向けて、市の取り組みを4つの分野に分類し、各分野の方向性を示すものです。
- 各分野の政策を体系的につなぎ、市民にも分かりやすく伝える役割を担います。
- 以下のような視点から、ご議論・ご審議いただきたいと考えています。
 - ・ 4つの基本目標は、体系的につながる政策分野の目指す方向性を示しているか。
 - ・ 各基本目標は、市民にとって分かりやすく、将来目指す姿をイメージできる表現とはなにか。
 - ・ 基本目標として必要となる視点や、適切な表現とはなにか。

将来像に求められる視点

基本目標は、政策分野全体の方向性を端的に表す言葉です。
表現には以下のような視点が必要となると考えています。

将来像とのつながり

基本目標が、将来像の実現に向けた方向性として適切な内容となっている

各分野を適切に表現している

各分野に位置付けられる政策を無理なく包含できる内容となっている

イメージできる

10年後のまちの姿や方向性が伝わる表現となっている

市民に伝わりやすい表現

市民にも分かりやすく、共感や理解を得られる言葉となっている

基本目標（例）

未来を担う “ひと”を育む

【説明】

安心して子どもを産み育てられる環境を整えるとともに、一人ひとりが学び、成長し、未来を担う力を育めるまちを目指します。

【対象政策】

子ども政策／教育政策

地域の価値を高める “しごと”を育む

【説明】

地域の強みや資源を生かし、産業の成長と挑戦を支え、活力と魅力あふれるまちを目指します。

【対象政策】

経済政策／農林水産政策

本市の将来像

未来につながる “まち”を築く

【説明】

人口減少社会に対応した都市構造の形成を進めるとともに、本市の強みや特性を生かしながら、将来にわたり持続可能な都市基盤を築くまちを目指します。

【対象政策】

都市政策／上下水道政策／土木政策／環境政策／
港湾政策／基地政策

安心・安全で豊かな “暮らし”を実現する

【説明】

地域で支え合いながら、誰もが健康で安心して暮らし、文化やスポーツを通じて心豊かに、質の高い暮らしを実現できるまちを目指します。

【対象政策】

市民生活政策／保健福祉政策／
文化スポーツ政策／消防政策／防災政策

VI 基本目標について

【参考】他自治体等の基本目標

	自治体名	基本目標（又はこれに類するもの）
1	長崎県佐世保市 (第7次総合計画)	・分野ごとに文章で表現 【例：出産・子育て】 ライフデザイン構築支援 妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識の普及を通じ、ライフデザイン構築のための支援を展開します。 多様で質の高い子育て支援 子育て支援に係る地域のニーズや国の動向等に対応した多様で質の高い事業展開を図るとともに、地域全体での出産・子育ての希望をかなえられるようサポートする環境づくりの実現を目指します。
2	長崎県長崎市	・人・企業・投資を呼び込み、経済を再生する ・こどもをまんやかに、みんなで支え、育てる ・まちの基盤を整え活かし、暮らす魅力を高める
	長崎県諫早市	・チャレンジできるまち ・産業が活力を生み出すまち ・人を育む学びのまち ・誇りと賑わいのあるまち ・持続可能なまち
	長崎県大村市	・人を育むまちづくり ・健康でいきいき暮らせるまちづくり ・安全・安心なまちづくり ・活力に満ちた産業のまちづくり ・機能的で環境と調和したまちづくり ・市民協働の推進と持続可能なまちづくり
3	千葉県流山市	・豊かな経済～新潟市の強みを伸ばし、活かし、挑戦する～ ・豊かな社会～共につながり、安心を広げる～ ・豊かな環境～守り、育み、未来へつなぐ～
4	静岡県掛川市	・分野ごとに文章で表現 【例：教育・ひとづくり】 生涯を通して学ぶことでまちの歴史や文化に誇りと愛着を持ち、郷土愛を育むひとづくり。一人ひとりの学びを通して培われた知識や経験を活かし、得意なところ、大事だと思うところでまちづくりに参加する。ひとづくりとまちづくりが一体的に進み、多くの学びと幸せを実感できるまち。